

# エネルギーの地産地消をめざし市の計画づくりを

砂田喜昭市長は3月議会  
で、「エネルギーの地産地消  
をめざし、そのための市の計  
画『バイオマスタウン構想』  
新エネルギービジョン』の策  
定を」と一般質問しました。

桜井市長は「早速にできれ  
ば年度内に庁内の研究グ  
ループを立ち上げ、いずれ予  
算化したい」と答えてました。

## 市民から高い評価

### 市の地球温暖化対策

砂田市長 市民満足度調査  
で地球温暖化対策が高く評価  
された。その要因は何と考えてい  
るのか。

桜井市長 小矢部市では地球  
温暖化防止対策として平成19  
年度から高効率給湯器設置補助  
事業(エコネット)、平成21年度か

ら遮熱性塗装設置補助事業、生  
「処理機設置補助事業」平成2  
2年度から太陽光発電設置補助  
事業を予算計上した。太陽光発  
電が800件、最大電力で8003キ  
ロワット。エコネットは307件、エ  
コネットは100件。LED照明は庁  
舎1階フロアに設置、街路灯は2方  
所。ペレットストーブは石動小学校  
に1基設置。これが市民に評価さ  
れたものと思う。

## 未活用資源と新エネルギー 需要の調査を

砂田市長 バイオマスタウン構想  
策定に取りかかるため、未活用資  
源の量、需要量の調査を進めるこ  
と。この調査には国の補助制度も  
活用できる。また、市関連施設の  
ボイラー、暖房設備の更新時期は  
いつ頃か。更新の際には、新エネ  
ギー(例えば木質ペレット)の導入を



考えるべきではないか。行政関連  
で新エネルギー需要がどれだけ  
見込めるかを明らかにすること  
で、その製造の民間事業者の意  
欲を引き出すことにも  
つながる。

庁内で早速に研究、調査した

# 住宅リフォーム 助成制度拡充を

住宅リフォーム助成制度で  
は、地域住民が住宅のリフォー  
ム改修を行った場合にその経費  
の一部を自治体が助成します。  
この制度は、住宅の改善を容易  
にするにも、中小業者の仕  
事おこしにつながり、その経済  
効果は助成額の数十倍にも上り  
ます。砂田市長は助成制度の拡

## 助成制度！ 融資より効果的だった

砂田市長 小矢部市も、住宅改  
修にかかる助成制度をいくつもつ  
くっている。下水道の水洗化助成  
制度は今年度初めて導入し、この  
制度の利用があった。これまでは水  
洗化促進には融資制度しかなく  
その利子補給程度ではほとんど利  
用されなかった。今回の水洗化助  
成制度をつくらねばならぬ。

## 小矢部産木材活用助成 制度をつくらねばならぬ

産業建設部長 今後リフォーム  
の要求が高まると思われることか  
ら、支援の目的を明確に、真に援  
助を必要としている方に重点的に  
助成したい。

リフォームすべてを対象とした助  
成制度は、1件5万円まで目標とした15  
0件の利用には及ばなかったが、融  
資制度に比べると大変好評  
だった。

# 税金の使い方をあらため暮らし、福祉、教育に

砂田市長は市長提出の4  
議案中、2010年度予算  
はじめ4議案に反対し、税  
金の無駄づかいを正せと  
討論しました。

縄文体験学習に  
新たな敷地購入が必要か  
道の駅メルシーおやべの整備に  
広大な用地2万8千㎡を確保し  
たにもかかわらず、桜町JOMON  
パークの機能をそと給み込ます、  
新たに現在の借地4672㎡を2  
980万円で購入する必要がある  
のでしょつか。予算特別委員長報  
告でも市有財産の購入については  
慎重に取り組みたいことを求めま  
した。

市は、博物館施設の役割分担を  
見直し、桜町遺跡の重要な出土  
品はすべて埋生地区のふるさと歴  
史館において展示します。

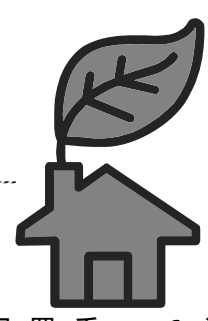
桜町JOMONパークでは縄文体  
験学習だけとなります。縄文人の  
生活体験のため、勾玉や土器をつ  
くったり、ひょうたんを栽培したり  
することです。それなら、道の  
駅でも、クロムンデや旧菅尾滝小  
学校の跡地、埋生の文化アポー  
センターの敷地でも、工夫をすれ  
ばどこでもできるではありません  
んか。

議会専用車に  
400万円とは  
小矢部市は行財政改革でこれ  
まで公用車の削減、共用化、低価  
格の軽四などに切り替えてきまし  
た。ところが、こんどの予算で議  
会専用車として400万円の新車  
を購入します。市は2007年度  
に、黒塗りの市長専用車、議長専

成制度創設には慎重に判断したい  
が、おやべの木活用促進事業」と  
平成22年度から県が始める「富  
山の木で家作りモデル事業」を併  
用すれば、かなりの住宅リフォーム  
に活用できる市産材1立方メー  
トルあたり4万5千円助成、上限10  
0万円。

おやべの木活用促進事業  
市産材を使って住宅の新築、増  
改築をすると市が助成金を出す  
制度。

助成の条件 市産材を3立方  
メートル以上使用  
助成額 1立方メートル  
あたり2万5千円を補助  
上限70万円。



3月議会でも報告された下水道  
計画見直しの素案では、散居村地  
域における下水道事業の見直し  
が不徹底で、ひきつぎ特定環境  
保全公共下水道方式ですすめる  
ことになっています。これでは正  
得、若林、水島など散居村での水  
洗化の完成が50年先、  
60年先です。

砂田市長は予算特別  
委員会でも、浄化槽市設  
置型の整備を散居村で  
早く始めないと、市民の  
間に不公平感を残すと指摘。一  
方、町部ですでに下水道の恩恵を  
受けている地域でも、公共下水道  
方式を散居村で漫然と続ける  
と、莫大な工事費、借金がかさ  
み、現在月平均5千円前後の下  
水道使用料が将来、大幅引き上  
げといつたいいんな事態が心配だ  
と警告し、ぜひとも抜本的な見  
直しが必要だと強調しました。

# 下水道計画見直しを 散居村では 浄化槽市設置型で

3月議会でも報告された下水道  
計画見直しの素案では、散居村地  
域における下水道事業の見直し  
が不徹底で、ひきつぎ特定環境  
保全公共下水道方式ですすめる  
ことになっています。これでは正  
得、若林、水島など散居村での水  
洗化の完成が50年先、  
60年先です。

砂田市長は予算特別  
委員会でも、浄化槽市設  
置型の整備を散居村で  
早く始めないと、市民の  
間に不公平感を残すと指摘。一  
方、町部ですでに下水道の恩恵を  
受けている地域でも、公共下水道  
方式を散居村で漫然と続ける  
と、莫大な工事費、借金がかさ  
み、現在月平均5千円前後の下  
水道使用料が将来、大幅引き上  
げといつたいいんな事態が心配だ  
と警告し、ぜひとも抜本的な見  
直しが必要だと強調しました。